

浅井北だより

ウェブ版はこちら→



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆ 令和4年 2月号



励みの輪 あいさつの花



体力づくりの一環として、なわとび週間を行いました。学級で目標となる級を設定し、それぞれが達成できたら木の掲示物にリンゴの実を貼っていき、励みとしました。休み時間には、友達同士誘い合い、楽しみながら体を動かす様子が見られました。また、各学級でも体育の時間には、軽快なリズムなわとびの音楽に合わせて熱心に練習をし、新しい技に挑戦する姿が見られます。子どもたちのなわとびの輪が校庭のあちらこちらに広がっています。楽しみながら体を動かすことを習慣とし、体力作りへとつながるよう子どもたちに働きかけていきたいと思えます。



24日（月）から28日（金）まで、あいさつ運動を行いました。今回は「クラスであいさつのお花畑を作ろう作戦」とし、学級で目標を決め、達成度に応じて種の掲示物に花を貼って行きました。運動期間中には、朝、児童会役員・代表委員が門に立ち、登校してくる子どもたちにあいさつを呼びかけました。「笑顔で」「相手の目を見て」「うなずいて」など、それぞれの思いが伝わるすてきなあいさつの花が、校内にいっぱい咲きました。



学びの確認

3学期は、子どもたちのみならず私たち教職員も、まとめの学期です。児童や保護者・地域の皆様からのアンケート結果、教職員の自己評価などをもとに今年度の学校教育について協議をし、成果と課題をもとに、次年度の教育活動のあり方を検討しています。

私たち教職員にとって、目の前の子どもたちによりよい授業を行っていくことは一番大切なことです。今年度の始めから研究授業や研修の場を設定し、授業力向上を目指してきました。3学期にはその学びのまとめとして、1年生と6年生で研究授業を行いました。また、授業と学び研究所の和田裕枝先生を講師にお迎えし、研究授業の指導と模擬授業をしていただきました。模擬授業前には、子どもをつまずきを予想し、それを授業の中でどのように支援していくか考えながら、和田先生の授業に子ども役となって参加しました。子どもの立場になることで、自分の発言を授業の中で取り上げてもらう喜びや、具体物を操作することで思考がより深まることを実感しました。後日、今年度の研究のまとめと次年度の方針について、現職教育主任が中心となり共通理解をしました。3学期は今年度のまとめの学期でもあり、かつ、次年度の0学期と捉えています。まとめをしっかりと行いながら、子どもたちが希望と自信をもって次年度を迎えることができるよう、今後も教師力向上と授業改善に努めていきます。



ご参観ありがとうございました ~オンライン授業参観~

1月25日（火）26日（水）予定の授業参観を、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、オンラインでの参観としました。中止という判断もありましたが、少しでも子どもたちの学校での様子を見ていただきたいという思いで実施をいたしました。学校の端末では、配信できる数や環境に限りがあるため、可能な限りの対策を立て、また、個人情報に留意して背面からの投影とさせていただきました。時間を限定するなど、十分な環境下での参観とならず、ご満足いただけなかった面もあり申し訳なく思っております。今後も様々なかたちで、子どもたちの学校での様子を伝えていけるよう工夫をしていきます。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。